## 要望項目（7分野24項目）

＜特別要望＞
1　東日本大震災における復興財源の確保及び予算措置
2　風評被害対策の強力な推進

＜総　合＞
3　さらなる経済対策の実行
4　地方創生交付金等の拡充と恒久化
5　中小企業連携組織対策事業費補助金の安定的な確保・拡充
6　基本計画における未着工の新幹線の整備
7　官公需対策の拡充
8　公共建築物等の発注に当たり木材利用の促進に努めること

＜金　融＞
9　資金調達の円滑化
10　経営者保証を徴求しない金融システムの実現

＜税　制＞
11　法人税減税に伴う外形標準課税の適用拡大反対
12　組合関係税制の拡充
13　消費税軽減税率導入時の事務負担の軽減及び万全な価格転嫁対策の実施
14　事業承継税制の拡充
15　事業に供している個人資産の相続について

＜商　業＞
16　大規模集客施設の郊外開発行為に対する厳格かつ適正な対処
17　高速道路割引料金制度の見直し
18　高速道路又は一般道における駐車スペースの整備・拡充

＜工　業＞
19　ものづくり補助金の継続及び拡充
20　メタンハイドレートの調査について

＜労　働＞
21　協会けんぽへの財政支援の拡充
22　最低賃金の一律引き上げ反対
23　中小企業が共同で設置する保育施設についての制度の拡充
24　外国人技能実習機構による諸手続の円滑化

本会では、このほかに会員の皆様から頂戴したご意見・ご要望について、国や県等へ様々な機会を通じて要望活動をしてまいります。

要望したい事項等がありましたら、いつでも本会までご相談ください。

## TOPICS 2 トピックス ● SPECIAL FEATURES ●
## 田村憲久自民党政調会長代理へ要望書を提出

6月25日（日）、本会伊藤専務理事が「田村憲久自由民主党政調会長代理を囲む要請・要望懇談会」へ出席し、田村政調会長代理へ要望書を提出しました。

このたびの要望では、(1)革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金の継続と、(2)労働基準法第32条第1項・第2項違反の是正勧告制度運用緩和についてお願いし、特に革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金については、「地域産業の活性化に大きな効果をもたらす重要な役割を担っており、また使い勝手の良さから、そのニーズは極めて高く、ものづくり企業等に対する資金面の支援や早期の事業化促進により関連産業を含めて雇用促進などの波及効果も出てきている。設備投資に伴う企業の活性化は、経済活動のグローバル化や情報化の進展等、中小・小規模事業者を取り巻く環境が厳しくなる平成31年10月からの消費税増税に向けた有効な支援策であることから、平成28年度補正で終わることなく、それ以降も引き続き予算措置をしていただきたい。」と訴えました。

［要望書を提出する伊藤専務理事（右）］

# 秋田で連続テレビドラマの撮影を　～NHK会長へ要望～

［要望の様子（左から2人目が藤澤会長、右から3人目がNHK上田会長）］

6月28日（水）、佐竹敬久秋田県知事や藤澤正義会長をはじめ各経済団体の代表者がNHKの上田会長を訪れ、秋田県を舞台にしたNHK連続テレビドラマを撮影してもらうよう要望活動を行いました。

代表して佐竹知事は「昨年12月に全県25市町村、商工団体、観光振興団体等によるNHK連続テレビドラマ秋田県誘致推進協議会を設立し、県を挙げて受け入れする用意がある。過去2回の朝ドラは観光の起爆剤となった。地域振興にテレビ放映の効果は大きく、是非、本県を舞台にした連続テレビドラマの撮影を検討して欲しい。」と要望しました。

これに対し、NHK側は「大河ドラマや朝ドラについて高評価をいただき、各地から撮影の要望を受けることは、有り難いことと受け止めている。経営の柱の一つとして地域の視聴者・住民に寄り添うことを打ち出したところであり、今回の要望についても検討させてもらう。」と話しました。

また、懇談では、放映中の朝ドラ「ひよっこ」の6月5日放送分で取り上げられた五城目町のかりんとうが話題になったことや、バラエティ番組で能代をロケ地とした際の視聴率が県内では30％以上あったことなどに触れながら、本県にゆかりのある各界の偉人・著名人や伝統行事、文化財、景観等をまとめた「秋田コンテンツ集」を提供しました。

［懇談の様子］

# 「健康づくり」を県民運動に
## ～秋田県健康づくり県民運動推進協議会～

本県は、がんや脳血管疾患による死亡率が全国ワーストとなっているほか、心疾患による死亡率も高い状況にあり、生活習慣病の克服が大きな課題となっております。

そこで、県民の健康意識を高め、健康づくりの取組を県民運動として展開することを目指し、県、市町村、経済団体など70団体が参加する秋田県健康づくり県民運動推進協議会の設立大会が、7月26日（水）、秋田市の秋田ビューホテルにおいて開催されました。

大会では、協議会会長、副会長が指名された後、団体代表らによる「あきた健康宣言」が行われました。

その後、国立健康・栄養研究所の宮地元彦氏より「身体活動＋10で健康長寿」というテーマで基調講演が行われ、健康長寿社会の実現に向けた生活習慣の改善や健康保持のため、日頃から簡単にできる身体活動や各自治体の取組について学びました。

本会でも、当協議会の一員として、健康づくりに向けた県民運動を応援してまいります。

［健康づくり宣言の様子］